



熊谷市 記者クラブ取材情報

平成30年 5月31日発表
担当課:政策調査課

事業の名称等

これまでの「熊谷市の暑さ対策の取組」をまとめました

1. 日時

2. 場所

3. 事業概要

平成17年度から平成29年度までに本市が行ってきた暑さ対策について、その取組状況をまとめました。

「あついぞ！熊谷」の始まりから、日本最高気温の記録更新、暑さ対策や地域振興策からなる「あつさ はればれ 熊谷流(あっぱれ熊谷流)」や暑さ対策プロジェクトチーム提案の事業を紹介するほか、民間企業等と連携した取組等、「手あついぞ！熊谷」と言える熊谷市の暑さ対策を網羅した1冊となっています。

視察や取材時の参考資料として使用するほか、電子データを市のホームページに掲載し、広く一般の方にもご覧いただきたいと考えています。



4. 特徴やPRポイント

暑さ対策日本一の推進については、第1次熊谷市総合振興計画及び今年度からの第2次熊谷市総合振興計画の中で、リーディングプロジェクトに位置付けられています。

写真をたくさん掲載し、一般の方にも気軽に読んでいただけるよう工夫しました。

5. その他

資料の有無(有 ・ 無)

担当者 市長公室政策調査課 関口

連絡先 048-524-1111 (内線369)



埼玉県熊谷市の暑さ対策の取組

2005-2017



目 次

1 はじめに	1
2 暑さ対策を重点施策とした経緯	2
3 暑さ対策を実施したことによる成果	3
4 事業紹介		
(1) 「あつさ はればれ 熊谷流」の各事業	5
・冷ませ！熊谷	6
・天晴！熊谷	15
・アピール！熊谷	17
・扇げ！熊谷	22
・なるほど！熊谷	24
(2) 暑さ対策プロジェクトチーム提案事業	26
(3) 民間企業等と連携した取組	41
(4) その他の暑さ対策事業	45
5 おわりに	47
6 参考資料		
・時系列索引		
・「あっぱれ！熊谷流」、暑さ対策プロジェクトチーム提案事業 予算		

1 はじめに

埼玉県熊谷市は、人口約 20 万人、東京都心から 50～70 k m 圏に位置し、ほぼ平坦で、荒川、利根川の水源に恵まれた肥沃な大地と豊かな自然環境を有しています。また、年間を通して晴れの日が多く、夏季の気温が高いことでも知られており、平成 19(2007)年 8 月 16 日には、当時の日本最高気温 40.9℃を記録しました。

熊谷市がなぜ暑いのか、その理由は 2 つ考えられています。一つ目が、都心のヒートアイランド現象により温められた空気が、南寄りの風に乗って運ばれてくるため。もう一つは、上空を吹いている西風が秩父の山を越えて吹き降ろしてくる際に圧縮されて温度が上がるフェーン現象が発生し、温度の上った空気が流れ込むためです。つまり、フェーン現象と、東京都心から流れるヒートアイランドの空気が重なる「交差点」が、この熊谷だといわれているのです。



2 暑さ対策を重点施策とした経緯

熊谷市には気象台があるため、以前から天気予報ではそれなりの知名度がありました
が、全国的な猛暑であった平成 16(2004)年に、これまで以上に注目されるようになり、
熊谷の暑さが大きく発信されました。これをヒントに、暑さを逆手に取り、貴重な地域資源
としてプラスに捉え、市民の気持ちの熱さ、人情の篤さなどの「あつさ」をキーワードとして、
楽しみながら積極的にまちづくりに生かそうと「あついで！熊谷」ひとづくり支援事業を開始
しました。これが「あついで！熊谷」の誕生です。



この事業は、市民の方々が行う、「商店街 40℃セール」や「最高気温あてクイズ」、「打
ち水大作戦」などの活動を、市が広報や補助金という形で応援するという市民と行政の
協働事業であるとともに、地域と切っても切り離せない自然風土を資源と捉え、そこに住
む市民の元氣と結びつけることで、地域の展開の可能性を探るという試みでもありました。

暑いという地域の特色を生かしたこの事業は、市民のある種の連帯感醸成に
つながり、個人・団体・企業が「あついで！熊谷」の冠をつけて行うイベントを市が
ポスター等で PR する「あついで！熊谷」冠エントリー事業には多くの応募が寄せ
られました。市民主体のイベントが増加したことは、地域活性化のみならず、市
民活動の推進にも大きな役割を果たしました。この暑さを逆手に取ったまちづくり
は、他自治体に例がなかったため、マスコミの注目度も高く「熊谷」の知名度向
上にも大きく貢献しました。



また、平成 19(2007)年に当時の日本最高気温を計測したことを契機に、「熱中症
から市民の健康を守ること」を緊急に取り組むべき課題に据え、この課題解決を図るとも
に、「暑さ日本一」「快晴日数日本一」という特徴的な気象条件を生かした地域振興策
にもつながるようなアイデアを全職員から募ったところ、400 以上のアイデアが寄せられ、
初年度はその中から 24 個を事業化し、「あつさ はればれ 熊谷流プロジェクト」(あつぱ
れ熊谷流) を立ち上げました。「あつぱれ熊谷流」は、平成 20(2008)年度から平成
29(2017)年度を計画期間とする第 1 次総合振興計画におけるリーディングプロジェクト
に位置づけられました。さらに、3 年ぶりの猛暑となった平成 22(2010)年からは、暑さ対
策、熱中症対策の調査・研究及び事業の企画・立案を行う若手職員を中心とした暑さ
対策プロジェクトチームを結成し、市民の生命、健康を守るための体制を強化し、熊谷オ
リジナルの暑さ対策を展開しています。

3 暑さ対策を実施したことによる成果

熱中症救急搬送者数の推移については表 1 のとおりとなっています。これについては、年ごとに暑さの傾向が異なるため、一概に比較できませんが、図 1 に示したとおり、救急搬送者の初診時における傷病程度（図 1）については、埼玉県や全国の数値と比較して、軽症での搬送者が多く、中等症、重症者の割合が低くなっています。このことは、市が平成 20(2008)年から 10 年にわたって実施してきた様々な暑さ対策や熱中症予防の啓発により、熱中症が死に至る危険もあるということが市民に周知されている証拠ではないかと考えています。

また、「あつぞ！熊谷」に続き、暑さ対策もマスコミに数多く取り上げられています。平成 28(2016)年には NHK 等で「熊谷で学ぶ熱中症対策」の特集が組まれたのを始め、50 件以上の新聞記事やテレビ番組で紹介され、平成 29(2017)年には、新聞やテレビ以外にも、書籍や雑誌での紹介や、講演依頼、視察の受け入れなど、広く市のイメージアップや健康対策、地域活性化などにも貢献していると言えます。

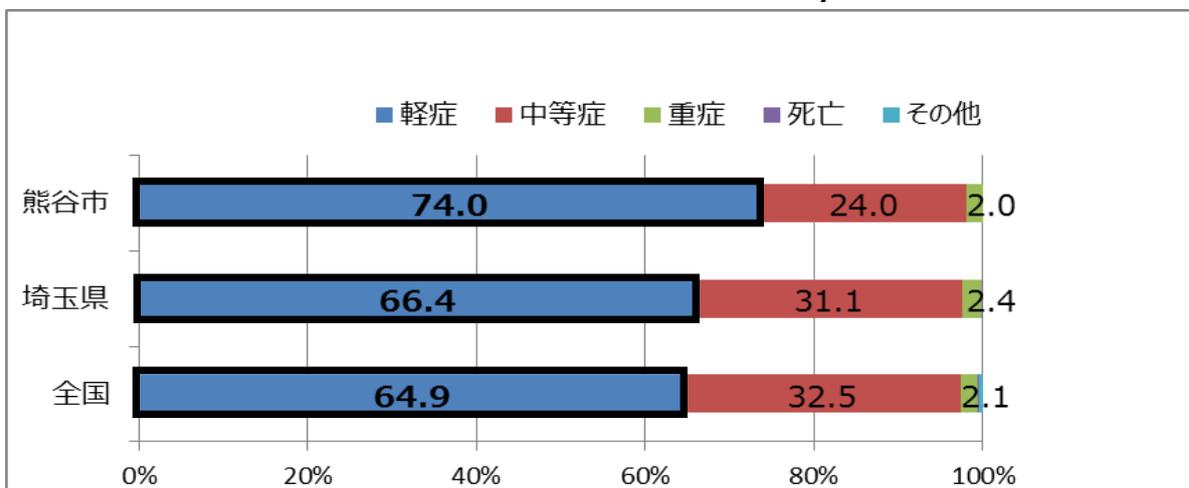
さらに、環境省が推進する「熱中症予防声かけプロジェクト」が主催する「ひと涼みアワード」においては、初回の平成 24(2012)年から 6 年連続で、日本一であるトップランナー賞等の最高賞を受賞しています。

表 1：熊谷市熱中症救急搬送人員件数表

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
一般	38	33	137	143	106	128	99	128	69	100
市内中学生	3	4	8	11	3	2	1	5	4	9

※H20～22 の「うち市内中学生」数には、市外在住の中学生も含まれています。

図 1：熱中症救急搬送者の初診時における傷病程度（H29/2017）



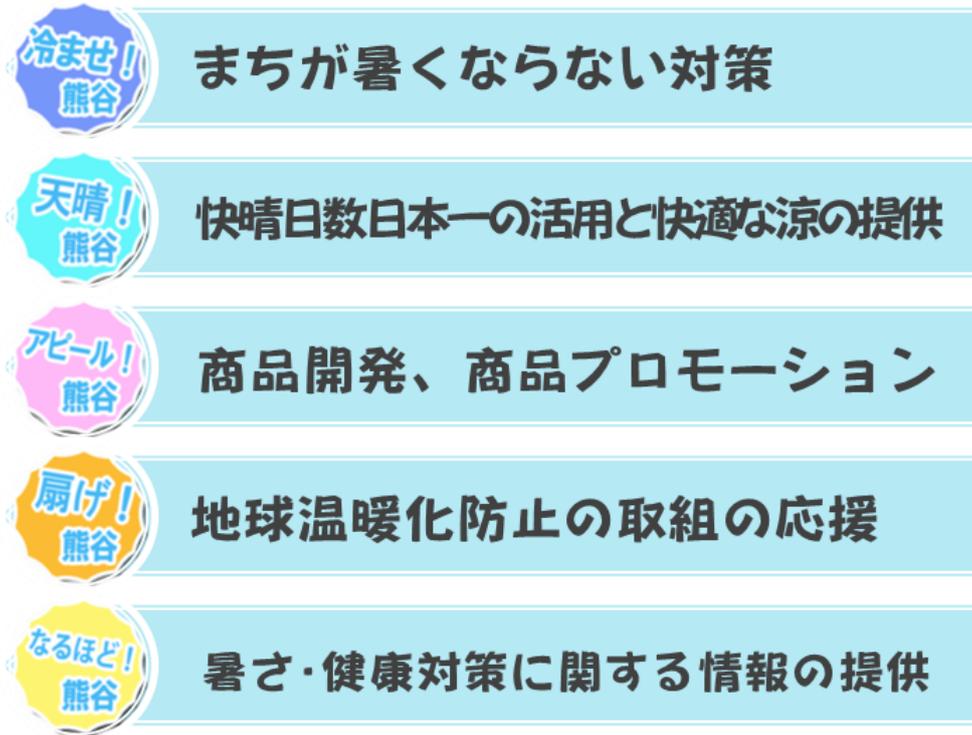
- ひと涼みアワード受賞歴 ※環境省が推進する「熱中症予防声かけプロジェクト」が主催
- | | | |
|----------|---------------------------|------------------------|
| H24/2012 | ★トプラナー賞 | 応募団体 282 (7 団体が受賞) |
| H25/2013 | ★行政トプラナー特別賞 | 応募団体 302 (1 団体のみ受賞) |
| H26/2014 | ★トプラナー賞 | 応募団体 423 (") |
| H27/2015 | 最優秀啓発賞(行政部門) | 応募団体 612 (各部門行政・民間各 1) |
| H28/2016 | ★トプラナー賞
最優秀企画賞 | 応募団体 652 (行政、民間各 1) |
| H29/2017 | ★トプラナー賞
最優秀声かけ賞 官民連携部門 | 応募団体 655 (行政、民間各 1) |
- ※6 回中 5 回トプラナー賞を受賞



4 事業紹介

(1) 「あつさ はればれ 熊谷流」の各事業

「あつさ はればれ 熊谷流」(あっぱれ!熊谷流)は、「冷ませ!」「天晴!」「アピール!」「扇げ!」「なるほど!」の5本の柱からなっています。





まちが暑くならない対策

① 打水と花いっぱい

市民活動事業（はじめの一步助成）

実施年度

H20

目的

- ・市内の緑化を進め、暑さを和らげること。
- ・市民活動を活発化させ、熊谷市を魅力と活力あるまちにすること。

事業概要

市内における市民活動団体の設立と新たな事業の実施に対して助成金を交付する「はじめの一步助成金」制度において、「暑い熊谷の夏を快適に過ごすための緑化運動」にチャレンジする市民活動団体を募集し、認定事業に対し助成金を交付

●認定事業①：ガーデンフェスタくまがや（「特定非営利活動法人埼玉ガーデン・ガーデニング」実施）

取組内容：熊谷農業高校と協力してコミュニティひろばに設置する「モデルガーデン」、個人の庭を一定期間一般の人に公開する「オープンガーデン」の開催、「園芸福祉セミナー」の開催等、植物を通じた活動を通じて緑化に努める。



熊谷農業高校設置のモデルガーデン



「オープンガーデン」個人の素敵な庭を公開

●認定事業②：星川に緑のニャオざね出沒??（「ロハスナン倶楽部」実施）

取組内容：「中心市街地に楽しい緑化を！」と題し、星川広場にニャオざねのトピアリーを設置し、市民に緑を親しんでもらう。また、トピアリー、ハンギングバスケット、緑のカーテン作りの講座を開催するとともに、受講者の作品も星川広場に展示



ニャオざねトピアリー



ハンギングバスケット講座

担当課

市民活動推進課

市民活動事業（花いっぱい・打水 子どもの見守り大作戦）

実施年度

H20、H21（H21は校区花いっぱい事業に事業名変更、H22～花緑いっぱい事業に統合）

目的

- ・市内の花いっぱい活動を進め、暑さを和らげること。
- ・子供の見守り活動を行い、安心なまちづくりを行うこと。
- ・地域の活動を活発化し、小学校との連携を深めること。
- ・地域の交流を促進し、住みよいまちづくりを進めること。

事業概要

小学校区単位で組織されている30の校区連絡会に対し、プランター、ペゴニア苗、培養土を配布
花への水遣りと打水を、こどもの見守りと兼ねて、登下校時間帯にあわせて実施

担当課

市民活動推進課



保育所花いっぱい事業

実施年度

H20、H21（H22～花緑いっぱい事業に統合）

目的

- ・市内の花いっぱい活動を進め、暑さを和らげること。
- ・子供たちが自ら植えた花々を育て大事にすることで、自然を大切にする心の醸成を図る。

事業概要

市内 12 か所の公立保育所に、四季の花を配布

春：ペチュニア、夏：マリゴールド、秋：ジニア（百日草）、冬：パンジー

担当課

保育課



学校花緑いっぱい事業

実施年度

H20、H21（H22～花緑いっぱい事業に統合）

目的

- ・市内の緑化、花いっぱい活動を進め、暑さを和らげること。
- ・子供たちが自ら植えた花々を育て大事にすることで、自然を大切にする心の醸成を図る。

事業概要

市内小・中学校、幼稚園に、緑のカーテン（ゴーヤ、ヒョウタン、アサガオ、ヘチマ、クレマチス）になる植物や、花（ペゴニア、サルビア、パンジー、ノースポール）を配布

担当課

学校教育課

②壁面緑化

壁面緑化事業	
実施年度	H20～（H22～壁面緑化推進事業として実施）
目的	<ul style="list-style-type: none">・建物への直射日光を避け、植物の蒸散作用により、庁舎内の温度上昇を抑制すること。・来庁者に地球温暖化防止・省エネルギー対策の取組をPRし、広く壁面緑化の普及を図ること。
事業概要	<p>施設の壁にネットを張るなどして、朝顔やゴーヤなどを花壇やプランターに植え、壁面緑化を実施</p> <p>H20 大里・妻沼行政センター、公民館、熊谷商工会館、市民体育館</p> <p>H21～大里・妻沼・江南行政センター、公民館</p> <p>H23 から、一般家庭、事業所における壁面緑化の普及を促進するため、『みどりのカーテン補助金』を交付するとともに、「みどりのカーテンコンテスト」を実施</p> <p>江南行政センターでは、みどりのカーテンの外側と内側の気温を測定した結果、南側で約 1℃、西側で約 0.5℃の気温差が認められた。体感的には測定結果以上であった。</p>
担当課	施設所管課等、H22～環境政策課



緑のカーテン推進事業

実施年度

H21（H22～花緑いっぱい事業に統合）

目的

・市内の緑化、花いっぱい活動を進め、暑さを和らげること。

事業概要

くまがやエコライフフェア 2009、大里庁舎において、アサガオの種を配布

担当課

公園緑地課

花緑いっぱい事業

実施年度

H22、H23（緑のカーテン推進事業、市民活動事業（校区花いっぱい）、保育所花いっぱい事業、学校花緑いっぱい事業を統合）

目的

・公共施設、公園、通学路等の緑化、花いっぱい活動を進め、暑さを和らげること。

事業概要

小学校区連絡会及び小・中学校、市立幼稚園・保育所による花緑いっぱい運動として、花の苗やプランター等を配布

小・中学校においては、学校花緑いっぱい事業コンクールを実施（H23 から小・中学校緑のカーテン整備事業へ移行）

担当課

公園緑地課、市民活動推進課、保育課、学校教育課



小学校/中学校 緑のカーテン推進事業

実施年度

H23～（花緑いっぱい事業から一部移行）

目的

- ・建物への直射日光を避け、植物の蒸散作用により、教室内の温度上昇を抑制すること。
- ・児童・生徒の環境問題への関心を高めること。

事業概要

小中学校に花の苗やプランター等を配布し、ベランダ型や壁面型の緑のカーテンを作り、「みどりのカーテンコンテスト」を実施

担当課

教育総務課



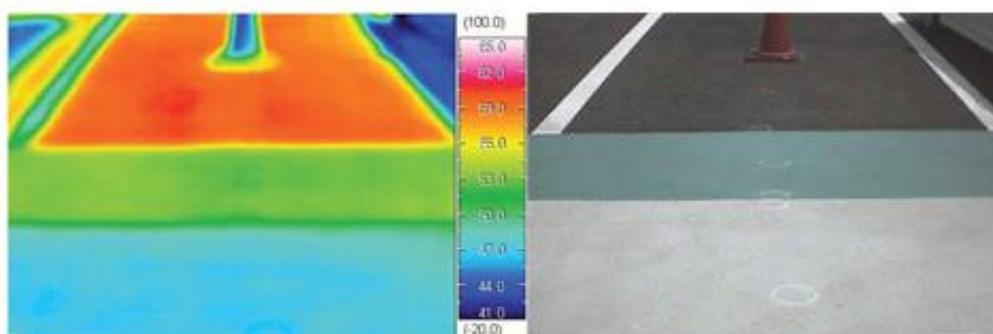
③ 遮熱・保水性舗装等

遮熱性舗装事業	
実施年度	H20
目的	・ヒートアイランド現象の緩和を図ること。
事業概要	市役所本庁舎の正面口と西側駐車場の歩車道等の既設舗装に遮熱性塗料を塗ることで、路面温度の上昇を抑制するとともに路面内部の蓄熱量を減少させ、夜間の放射熱を軽減する。 路面温度の最大温度差が 12.4 度のデータを得た。
担当課	維持課



遮熱性舗装及び通常舗装における温度測定結果

平成20年7月15日 12:30 気温31.1℃(駐車場樹木下)



※サーモグラフィ画像写真

熱線反射・断熱フィルム施工事業

実施年度

H22

目的

- ・庁舎の室内の温度上昇を抑制すること。
- ・冷房負荷を下げ、温暖化防止を図ること。

事業概要

市役所本庁舎及び江南庁舎の南側と西側などの窓ガラスに、透明性の高い熱線反射・断熱フィルムを貼付。このフィルムには、日射熱を遮断するとともに、遠赤外線を反射する効果があるため、夏は涼しく、冬は暖かい空気を外に逃がさないという特徴がある。また、冷暖房効率も高まるので、燃料使用量を削減し、二酸化炭素の排出抑制につながるほか、災害時等の窓ガラスの飛散防止にもなる。

効果測定の結果、平均で 3.6℃、最大で 9 度の温度差を確認した。

担当課

庶務課



保育所遮熱塗装事業

実施年度

H20

目的

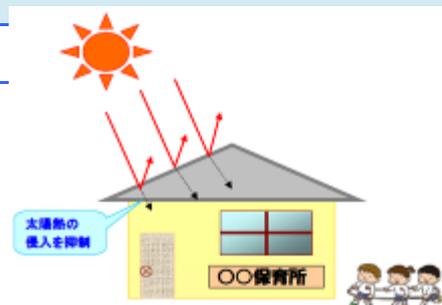
- ・保育所の室内の温度上昇を抑制し、子どもたちの保育環境の向上を図ること。
- ・冷房負荷を下げ、温暖化防止を図ること。

事業概要

銀座保育所の屋根を、赤外線を遮熱し、昇温抑制効果のある塗料を塗布した鋼板材に取替。太陽光の約 40%である赤外線がカットされることで室内の温度上昇が抑制されるとともに、冷房負荷が下がる。これにより、同様の保育所と比較して、1℃～3℃室内の温度が低下した。

担当課

保育課



④ その他

低公害車導入事業	
実施年度	H21、H24～（H24～低公害軽自動車導入奨励事業として実施）
目的	・低公害車の普及を促進し、地球温暖化防止を図ること。
事業概要	<p>庁用車の買換え等に伴い、低公害車 6 台を導入し、車両の両側面と背面に、「環境にやさしい天然ガスで走行しています」と啓発文を入れた。</p> <p>H24 からは、低公害軽自動車（電気自動車、天然ガス自動車、ハイブリッド自動車、低公害・低燃費車）を購入し軽自動車税を納税した方に、軽自動車税相当額を奨励金として交付している。</p>
担当課	環境政策課





快晴日数日本一の活用と快適な涼の提供

① 冷却ミスト

熊谷駅広場冷却ミスト事業

実施年度

H20～

目的

・熊谷駅を利用する市民や本市を訪れる方に快適な涼しさを提供すること。

事業概要

熊谷駅広場（正面口・南口・東口）に省エネルギーに配慮した冷却ミストを設置し、クールビズ期間にあわせて5月～10月（H26までは、6月～9月）の8時～20時に、①気温28℃以上、②湿度70%未満、③風速3m未満、④降雨なしの気象条件がそろった時に自動運転を行う。

噴霧エリアの温度を2～3度下げることができ、H24に実施したアンケート調査において、清涼感体感者79.4%のデータを得た。

また、設置場所が駅広場であり、テレビ局の気象に関する取材に取り上げられることが多く、熊谷市が暑さ対策に力を入れて取り組んでいる姿勢を市内外にPRするのに効果がある。

担当課

環境政策課

※平成20年に熊谷市で開催された高校総合体育大会においても、会場内に仮設冷却ミストを設置して、来場者に快適な涼しさを提供するとともに、環境に優しい最新技術の普及を図った（高校総体冷却ミスト事業）。また、平成20、21年のうちわ祭においても、同様の目的で、コミュニティひろば内に設置した（うちわ祭冷却ミスト事業）。



② 太陽光発電等

住宅用太陽光発電システム普及事業①

業務用新エネ・省エネ設備奨励事業②

実施年度

①H20（H21～新エネ・省エネ機器普及推進事業に拡大）、②H23
H24～①②を統合し、太陽光発電等普及推進事業

目的

・自然エネルギーの利用を促進し、省エネルギーの推進や二酸化炭素の排出を抑え、地球温暖化防止を図ること。

事業概要

市内の住宅又は事業所に太陽光発電システムや住宅用に燃料電池システム・太陽熱利用システムを設置した市民又は事業者に対し、設置に係る費用の一部を補助する。H21 からは、高効率給湯器を対象に加えた。H25 からは、高効率給湯器については家庭用燃料電池システムのみ対象としている。また、H29 から家庭用蓄電池、家庭用エネルギー管理システム（HEMS）の補助金を追加。

担当課

環境政策課

スマートハウス補助事業

実施年度

H26～

目的

・自然エネルギーの利用を促進し、省エネルギーの推進や二酸化炭素の排出を抑え、地球温暖化防止を図ること。

事業概要

太陽光発電システムや家庭用燃料電池システム（エネファーム）による「創エネ」設備、LED 照明等による「省エネ」設備、家庭用蓄電システムによる「蓄エネ」設備、エネルギー計測装置(HEMS)による「エネルギーの見える化」設備等を有する住宅(スマートハウス)を、市内に新築又は購入した方に補助（一律 50 万円）を行う。

担当課

環境政策課



商品開発、商品プロモーション

あついぞ！熊谷事業

実施年度

H20～（H29～政策推進業務経費の中で実施）

目的

- ・市民活動を育成し、市民の連帯感の形成や地域の活性化を図ること。
- ・本市の情報発信を図ること。

事業概要

熊谷の夏の暑さを逆手にとり、貴重な地域資源としてプラスに捉え、「暑さ」をキーワードに、市民と行政が協働し、気温の暑さや市民の気持ちの熱さを楽しみながらまちづくりに生かす事業を展開する。

○冠エントリー事業（H20～H27）※H18,H19 は、単独の事業として実施

個人や団体、企業が『あついぞ！熊谷』の冠をつけて行うイベントなどの事業を募集してとりまとめ、市報やポスター等でPRする。

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
エントリー件数	45	60	71	72	78	76	78	66

○U-18 少年熱中大使事業（H20～）※H19 は、単独の事業として実施

スポーツや文化芸術分野等で、国・県レベルの大会に出場する 18 歳以下の少年・少女にプレミアム版『あついぞ！熊谷』Tシャツを配布し、大会時に着用してもらうことで、本市をPRする。

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
参加者数	1,209	1,007	1,239	1,003	1,064	1,150	1,157	1,086	1,214	670



○熊谷市オリジナルうちわ・俳句扇子の販売事業（H20～）

※H19 は単独の事業、H20、H21 は、あつべえうちわについては「あつべえうちわ事業」で実施
熊谷をPRする新たなお土産品として、また節電対策としても最適であることから、「あついで！熊谷」
シンボルキャラクターである『あつべえ』や、名誉市民・故 金子兜太先生の俳句が描かれたうちわや扇子
を作製・販売する。

H20 には、北海道洞爺湖サミットが開催されるにあたり、先進国 8 カ国語で記された記念バージョンの
「あつべえうちわ」を各国に謹呈して、熊谷市の温暖化防止の取組を世界に紹介した。



担当課

企画課（H30～政策調査課）

* 金子兜太先生におかれましては、平成 30 年 2 月 20 日に御逝去されました。



熊谷ブランド創造事業

実施年度

H20～（H21～熊谷ブランド物産事業として実施）

目的

・熊谷の隠れた資源を発見し、市民協働による知恵と工夫で地域経済の活性化策を全国に向け発信すること。

事業概要

「熊谷市活性化プロジェクトチーム」が H18 に考案し、全国的に認証されつつあるかき氷『雪くま』を熊谷ブランドとして確立する。

「雪くま」のれん会に対し、キャンペーンのポスター、チラシの作成費など、ブランド化のための P R 経費を助成するとともに、雪くまを食べ歩いて、涼しさたまちの美しさや魅力を再発見してもらうためのマップを作成した（H29 から(一社)熊谷市観光協会で作成）。

H21 からは、熊谷ブランドの知名度向上のため、熊谷市の B 級グルメ、熊谷うどん、熊谷染等の物産振興に取り組んでいる。

担当課

スポーツ観光課



FM-NACK5 番組放送事業

実施年度

H20～

目的

・熊谷市の魅力を広くアピールすること。

事業概要

ラジオ放送局 F M - N A C K 5 の人気番組「GOGOMONZ」内で、「あっぱれ！熊谷ウィーク」と題した本市の特別コーナーや、市長が熱く語る「あっぱれ！熊谷流」「うちわ祭」「花火大会」のスポット C M などを放送

担当課

広報広聴課

熊谷染日傘普及事業

実施年度

H20～H28

目的

- ・熊谷の暑さ対策と快晴率日本一を P R すること。
- ・伝統工芸品である熊谷染を振興すること。

事業概要

熊谷市観光協会が手書きの桜、熊谷草、花火の 3 種類と、小紋の桜の熊谷染日傘の計 4 種を製作し、販売

担当課

スポーツ観光課



ホームページでPR事業

実施年度

H20

目的

・熊谷市の魅力を広くアピールすること。

事業概要

市のホームページをリニューアルし、「あっぱれ熊谷流」専用トップページ及びコンテンツを設ける。

担当課

広報広聴課





地球温暖化防止の取組の応援

温暖化対策計画策定事業

実施年度

H20

目的

・市民・事業者・市が一体となって、地球温暖化問題に取り組むこと。

事業概要

「熊谷市地球温暖化対策地域推進計画」を策定し、市民・事業者・市それぞれのアクションプランを構築し、実効性のある温暖化対策を推進する。

策定により、市、市民、事業者が一体となって温室効果ガスの削減を図り、地球温暖化対策に取り組むための行動指針とする。

担当課

環境政策課

熊谷 100 年の森づくり事業

実施年度

H20～

目的

・緑を増やして CO₂の削減を図り、熊谷市を日本一緑と清流に恵まれた都市に変えること。

事業概要

「熊谷ふるさとの森づくりの会」と連携し、市民の手で中心市街地のクールダウンも視野に入れた「ふるさとの森」づくりを実施

これまでに、熊谷さくら運動公園や熊谷市スポーツ・文化村「くまびあ」等 6,590 m²に 21,280 本の植樹、延べ参加者数約 5,000 人

担当課

公園緑地課



温暖化防止活動推進センター事業

実施年度

H22～

目的

・市民や事業所、市民団体などと連携して地球温暖化対策の推進を目指すこと。

事業概要

H22年10月1日に『熊谷市地球温暖化防止活動推進センター』を開設（運営は、「NPO 法人熊谷の環境を考える連絡協議会」）

地球温暖化及びヒートアイランド対策の普及啓発や広報活動、二酸化炭素などを抑制するための相談や助言を行う。

『くまがやエコマップ』を作成し、市街地を中心とした、省エネや環境に配慮した施設を紹介した。

担当課

環境政策課



見守り熱中症予防事業

実施年度

H20

目的

・熱中症による被害を防止すること。

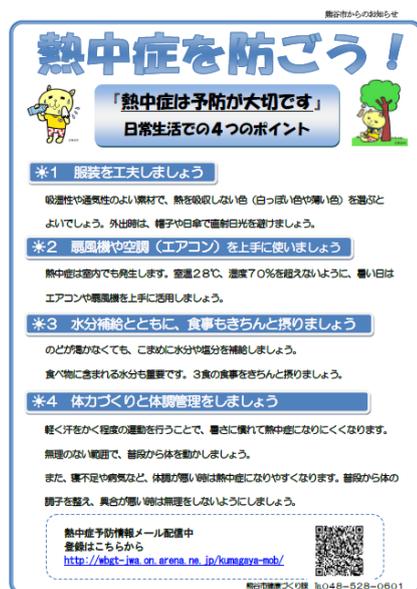
事業概要

熱中症の分類と症状、なぜ暑さが熱中症を招くのか、その予防法や対処法をイラストでわかりやすく解説した熱中症リーフレットを作成し配布。特に熱中症にかかりやすい高齢者対策として、単身高齢者宅（約 2,100 人）を民生委員（約 320 人）が訪問し、リーフレットを手渡した。

また、熱中症啓発用ののぼり旗（熱中症に気をつけよう！）を 60 本製作し、市有施設（市役所本庁舎、3 行政センター、熊谷・籠原駅連絡所、さくらめいと、あすねと、ピピア、熊谷さくら・妻沼運動公園）に 30 本設置。さらに、民間が主催する各種イベント・行事、マスコミの取材において、熱中症予防を啓発するため、のぼり旗 30 本を貸し出した。貸出延べ本数は合計 538 本に達した。のぼり旗のデザインは、40 度以上を示す温度計にうちわをあおぐ「あつべえ」をあしらひ、暑さ対策として「帽子、水分、塩分が大切」ということをアピールしている。

担当課

健康づくり課



熱中症予防情報発信事業

実施年度

H20（H21～熱中症予防事業）

目的

・熱中症による被害を防止すること。

事業概要

一般財団法人日本気象協会と連携し、市内小学校(30校)に熱中症・かぜ予防指標解析表示計を設置し、小学校区ごとの熱中症予防情報やかぜ予防情報などをリアルタイムで市民にホームページやメールで知らせるサービスを実施。熱中症の危険度を5段階に分け発信するとともに、測定データを基に日本気象協会が解析・予測を行い、予防情報を提供する。結果は、ホームページで情報提供するほか、その危険度により防災行政無線での放送や、車両での注意喚起、学校での部活動の実施判定等に活用（防災行政無線での放送は、午前9時の時点で、その日の午後1時から3時までの予測指標が、全30小学校中、5小学校区以上で「嚴重警戒」又は「危険」と表示された場合に実施）。保育所や児童クラブ等では、熱中症予防情報を随時確認し、保育メール等で注意喚起。

事業開始当時は、全国初の取組であったことから、「見守り熱中症予防事業」と併せて新聞やテレビ等メディアで数多く取り上げられ、これらの報道を通して市民の熱中症に対する意識が高まり、熱中症の発症抑制や、搬送者の軽症化に寄与している。

なお、11月からは、かぜ予防指標「コンコン指数」に基づく「かぜ予防情報ページ」の開設や「かぜ予防情報メール」を発信している。

担当課

健康づくり課



(2) 暑さ対策プロジェクトチーム 提案事業

暑さ対策プロジェクトチームは、暑さから市民を守ること、暑さを活用した地域の活性化、情報発信を図るための新たな方策を調査、研究し、事業提案することを目的として設置しています。

メンバーは、環境や緑化、健康部門に限らず、福祉、産業振興、建設、教育委員会など、様々な分野の職員で構成されており、各所属との兼務としています。平成 30 年 3 月現在、10 名で構成され、平均年齢は 29 歳となっています。なお、これまでに在籍したメンバーの延べ人数は 71 名のぼります。

暑さ対策プロジェクトの提案事業は、市長及び副市長へのプレゼンテーションを経て採択の可否が決定し、採択されたものについては、事業実施課へ引継ぎ、実現しています。平成 22 年 10 月のチーム発足以来、平成 29 年度までに実施された事業数は 23 件となっています。

暑さにまけるな中学生事業

実施年度

H23～H28（※H29～地域へ発信！中学生サポーター事業に拡大）

目的

・熱中症を予防するとともに、いざというときの知識・スキルを身につけること。

事業概要

5 月下旬から 6 月の時期に、市内の中学 2 年生全員に対して、授業の一環として熱中症対策講習を実施。各中学校を訪問する消防の救急隊の職員から、熱中症予防の知識や適切な対処方法、AED を活用した心肺蘇生法を学び、スキルを身につけ、いざというときに対応ができるとともに、災害時に地域の中心になって動ける生徒の育成を目指す。

担当課

学校教育課



まちなかオアシス事業

実施年度

H23～

目的

・屋外で熱中症にかかるのを予防すること。

事業概要

屋外で気分が悪くなった市民のために、庁舎や公民館などの公共施設に、一時的な避難場所を設置し、熱中症にかかる人数を減らす。

庁舎や公民館など市内 22 か所（2017 年時点）に、一時的な避難場所となるまちなかオアシスを設置している。オアシスには、冷たいペットボトル、瞬間冷却剤、タオル、簡易温度計などを備え付け、屋外等で気分が悪くなった方に必要に応じて無料で提供し、体調回復に役立ててもらっている。

担当課

健康づくり課



熱中症予防グッズ配布事業

実施年度

H23～

目的

・熱中症にかかるのを予防すること。

事業概要

市内の小学1年生、転入生及び75歳の方全員を対象に、水に濡らして体に巻くと涼しく感じられる素材で作製した「クールスカーフ」を配布。希望者には、販売もしている。

担当課

企画課（H30～政策調査課）



PR 事業

実施年度

H23、H24

目的

・熱中症予防を啓発すること。

事業概要

市内在学の高校生や、本市のマスコットキャラクター「ニャオざね」による、暑さ対策のCM（映像）を作成し、市内の映画館や市役所ロビーで放映した。「暑さに負けるな編」「クールスポット紹介編」「雪くま紹介編」「国際交流編」

担当課

広報広聴課



涼しさ体感アート事業

実施年度

H23～（H24 は、市民協働「熊谷の力」涼しさ体感事業として実施）

目的

・視覚から涼しさを感じてもらうこと。

事業概要

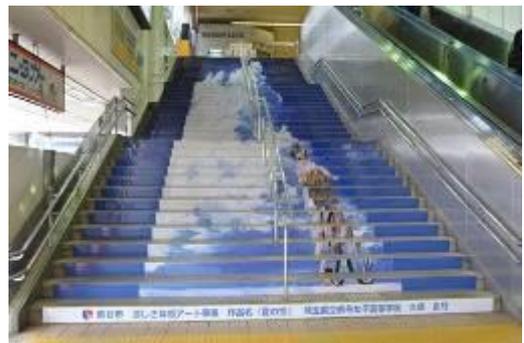
「涼」、「水」、「青」をテーマにした作品を公募し、優秀作品をシールにして、J R 熊谷駅、籠原駅の階段計 6 か所に展示する。その他、H23,H24 は、市役所や行政センター等への緑化アート展示等も実施

担当課

企画課（H30～政策調査課）



H29「金魚とスイカ」



H28「夏の空」



H27「冷やした野菜」



H26「川で涼む木の根と女の子」

デジタルサイネージ設置事業

実施年度

H25～（H26～デジタルサイネージ事業として実施）

目的

・市民等に熱中症予防情報や行政情報等を提供すること。

事業概要

JR 熊谷駅改札外側に電子掲示板（デジタルサイネージ）を設置し、熱中症予防情報や行政情報、観光情報、災害発生時の緊急情報等を文字により発信する。

担当課

広報広聴課



クール&スマイル事業

実施年度

H25、H26（H26 は、スマイル de クール時計事業として実施）

目的

・市政にあまり関心がない若年層をターゲットに、暑さ対策を広くPR すること。

事業概要

人気サイト「美人時計」とタイアップし、市内のクールスポット等で撮影された笑顔いっぱいの市民の写真を一定時間ごとに美人時計及び市ホームページに表示した。

また、市ホームページ内に暑さ対策特設ページを作成し、ホームページ内の美人時計と連携させ、本市の暑さ対策を全国に発信した。

担当課

広報広聴課



保育所ひんやりペタペタ事業

実施年度

H25

目的

・夏場でも快適で移動しやすい保育環境を整備すること。

事業概要

保育所において、子供たちが歩く南側に面したテラスなどのコンクリート部分に熱交換塗料（※）を塗布し、夏場においても快適で移動しやすい保育スペースを創出。籠原保育所での実証実験後、荒川・銀座・石原・玉井・中条・箱田・市田・上須戸・江南の10か所の保育所で実施

塗布した部分としていない部分の表面温度の差は、18.1℃であった。

※夏場は余分な蓄熱や放射熱が発生しない一方で、逆に冬場は一定温度での蓄熱をするという特徴を持っている塗料。吸収した熱エネルギーを塗料の分子の働きで消費する。

担当課

保育課



藤の parasol 事業

実施年度

H26

目的

・夏の厳しい日差しを軽減し、快適に街歩きができるようにすること。

事業概要

気温が上昇しやすい熊谷駅前通りの歩道 3 箇所に、日陰で信号待ちができるように藤棚と藤の苗木を設置。藤が作り出す夏季の緑陰と藤花による初夏の美観により熊谷の夏を涼しくする。

担当課

道路課



まちかどステッカー事業

実施年度

H26～

目的

・熱中症予防を広く周知すること。

事業概要

熱中症への注意を呼びかけるステッカーを制作し、市内の清涼飲料の自動販売機に貼り付けることで、広く熱中症予防を呼びかける。

担当課

健康づくり課



みよう広げよう熱中症ゼロの輪事業

実施年度

H26～

目的

・熱中症予防を広く周知すること。

事業概要

熱中症予防・対処法のオリジナル動画を制作し、市内小中学校への配付、市民への貸出、各所管団体の会議での放映を行うとともに、市政宅配講座や市職員への研修等にも利用することで、熱中症予防に関する知識を広める。

担当課

健康づくり課



緑の力でクールタウン事業

実施年度

H26、H27～緑のリレー事業を継続

目的

- ・緑を守り、地球温暖化防止を図ること。
- ・緑の重要性を啓発すること。

事業概要

○緑のリレー（H26～）

市内の処分されてしまう樹木を市民から市民へ譲り渡す機会を作るとともに、一定規模以上の大きさの樹木の移植にかかる費用の一部を補助する。

○啓発パンフレット作成（H26）

緑の重要性を啓発するパンフレットを作成する。

担当課

公園緑地課



ちびっこ元気事業

実施年度

H27～

目的

- ・熱中症にかからずに、安全に外遊びができるようにすること。
- ・夏の外出時に帽子をかぶることを習慣化すること。



事業概要

市内在住の3歳児に、熱中症予防に効果のある冷却機能を備えた「ニャオざねクールキャップ」を郵送で配布する。帽子全体にUVカット加工を施し、首の部分について高吸水繊維を水で濡らして使用することで、体感マイナス10度の冷却効果が3時間程度持続する。

担当課

こども課

えんむすび日傘事業

実施年度

H27～

目的

- ・熱中症にかからずに、快適に参拝や街歩きをできるようにすること。
- ・商店街の活性化を図ること。

事業概要

日本三大聖天の一つとして知られる、国宝妻沼聖天山の本殿「歓喜院聖天堂」周辺の商店街の商店等20か所に、熊谷染の図柄をあしらった日傘や番傘計300本を設置し、訪れた観光客に無料で貸し出す。

担当課

スポーツ観光課



アロマの香りで涼しさUP事業

実施年度

H28

目的

・暑さによる不快感を軽減すること。

事業概要

5月から8月までの間、本庁舎と熊谷図書館の入口にアロマディフューザーを設置し、ミント系のさわやかな香りで涼しさと安らぎをお届けする。

担当課

庶務課、文化センター



ミストシャワー購入支援事業

実施年度

H28

目的

・熱中症にかからずに、安全に地域行事ができるようにすること。

事業概要

屋外での地域行事を主催する団体に、ホースを蛇口につなぐだけでミストを発生することができる簡易型ミスト発生装置の購入費用の半額（上限1万円）を補助する。

担当課

市民活動推進課



暑さに強い子“かんげき”！事業

実施年度

H28

目的

- ・児童自らが暑さに対して心がけができるようにすること。
- ・保育士等を目指す大学生の研修機会とすること。

事業概要

子供たちが楽しみながら熱中症を理解できるよう、立正大学と連携し、保育士等を目指す学生の協力を得て、公立保育所などで手作りの紙芝居、寸劇、紙人形劇を媒体とした熱中症予防策を教えた。

担当課

保育課



小学校委員会活動支援事業

実施年度

H28～

目的

・暑さに対して主体的に考え行動できる児童を育成すること。

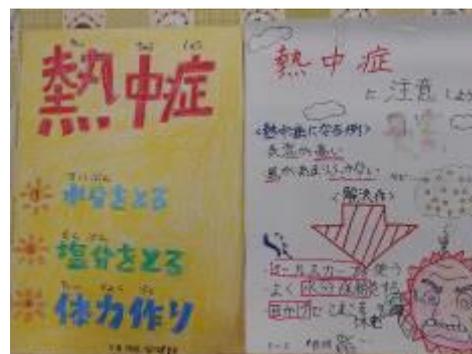
事業概要

各小学校の委員会活動の中で発案された暑さ対策の活動に対して支援を行っている。小学生ならではの様々なアイデアが実践され、熱中症予防に対する意識向上などの直接的効果のほか、「自発的な活動により責任感が高まった。」「地域や家庭との連携が強化された。」などの声が挙げられている。実施された取組の一部は下表のとおり。

委員会名	取組例
保健委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・下級生へ熱中症予防講座（紙芝居、本の読み聞かせなど）を開催 ・体育のあとなどに、水分補給や体温降下のために氷を配る。 ・各学級に熱中症指数計を設置し、表示の仕組みについて説明
放送委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・熱中症指数や水分補給、涼しい服装などを呼び掛ける。
運動委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・運動中に日陰で休憩できるようにプールや校庭にテントを張る。 ・ミストシャワー設置
環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・熱中症予防とアルミ缶回収の宣伝を兼ねたうちわを作成し各教室に配布 ・打ち水
給食委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・体を冷やす、スタミナ効果がある食材を使った料理を掲示物やリーフレットで紹介
計画委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・熱中症予防キャンペーン(ポスター作成、たすきをつけて呼びかけ、啓発放送等)

担当課

学校教育課



めざせ！暑さ対策研究日本一支援事業

実施年度

H29～

目的

・熊谷市の暑さの特徴等を解明すること。

事業概要

立正大学地球環境科学部と連携して、市内の熱中症搬送者データや小学校区ごとに設置している観測機のデータを分析・研究し、地域ごとの暑さの特徴等の結果を、市民への熱中症啓発や、今後の暑さ対策事業に役立てる。

担当課

政策調査課



遊んで学ぼう！熱中症予防啓発事業

実施年度

H29～

目的

・熱中症とその予防法について知ること。

事業概要

熱中症やその予防策、市の暑さ対策事業などを遊びながら学べるボードゲーム（すごろく）を作成
健康づくり課や、小学校（4年生中心）で貸出

担当課

健康づくり課



暑さと乾杯！甘くま事業

実施年度

H29～

目的

- ・夏バテしにくい体づくりを呼びかけること。
- ・新たな熊谷名物をつくり、地域活性化を図ること。

事業概要

熊谷産の米から作った栄養満点の糀甘酒を「熊之糀（くまのこうじ）」と名付け、熊之糀を使ったスイーツ（ドリンク、和菓子、かき氷、ジェラート等）を市内店舗で販売する。

担当課

スポーツ観光課



熊谷さくら運動公園日陰創出事業

実施年度

H29～

目的

- ・スポーツを楽しむ方や観戦する方の熱中症予防を図ること。

事業概要

熊谷さくら運動公園のテニスコート C コート南側 6 箇所、風通しが良く、熱がこもらない緑陰をイメージした日除けを設置する。

担当課

公園緑地課



地域へ発信！中学生サポーター事業

実施年度

H29～

目的

- ・熱中症にかかる中学生を減らすこと。
- ・地域の人に熱中症予防の啓発をし、地域で熱中症にかかる人を減らすこと。

事業概要

中学 2 年生が対象だった「暑さにまけるな中学生事業」を拡大し、中学校生活 3 年間をかけて、生徒を暑さ対策サポーターに養成する。1 年生は暑さ対策セミナーの受講、2 年生は A E D 講習を行い、3 年生では、学んだことを防災行政無線での放送や、地域行事等で情報発信し、熱中症予防を地域の方にまで広げる。運動会で高齢者にチラシを配りながら声かけをしたり、ショッピングモールや公共施設などで、啓発活動を行うなどした。

※「ひと涼みアワード 2017」において、荒川中学校の取組が「声かけ賞 官民連携部門」優良賞を受賞

担当課

学校教育課



(3) 民間企業等と連携した取組



○クールシェアくまがや実行委員会（熊谷青年会議所、市内企業、飲食店等）

・クールシェア（H24/2012年度～）

「クールシェア」は、涼しい場所をみんなでシェア(共有)し、電力使用を減らすことを目的とするもので、環境省が地球温暖化対策に資するあらゆる賢い選択を促す国民運動として推進する「COOL CHOICE」の主要施策の一つとなっている。

本市では、熊谷商工会議所、熊谷青年会議所、くまがや市商工会に加え、立正大学や商店街連合会、ロータリークラブ、PTA連合会、自治会連合会、NPOなど、数多くの団体の協力を得て実行委員会が立ち上げられ、地球温暖化対策に加え、熊谷独自の「人と人のつながりを深め、コミュニティの育成やまちの活性化につなげる」とのコンセプトをあわせた事業展開がされている。その中でも、クールシェアスポットに登録されているお店に出かけるとサービスを受けられる取組は夏の定番にもなっており、登録店舗(施設)はH29(2017)年で、219店舗にのぼっている。さらに、H29からは、店舗等が開催する様々な講座を体験できる「街なかゼミナール」の取組も開始した。

○熱中症予防声かけプロジェクト（H23/2011年度～）



環境省を始め、全国 7,146(H30.3月現在)の企業、行政、民間団体で組織される、熱中症予防を推進する運動「熱中症予防声かけプロジェクト」。熊谷市は行政賛同会員として、7月の「熱中症予防強化月間」に合わせて全国一斉で実施する「熱中症予防声かけ出陣式」での啓発活動を始め、ポスターの掲示、市内イベントへの出展などでの声かけを行っている。



○熱中症ゼロへ（H25/2013年度～）



熱中症にかかる方を減らし、亡くなってしまう方をゼロにすることを目指して(一財)日本気象協会が推進するプロジェクト。熊谷市は、このプロジェクトに賛同し、商品やサービスを通じて熱中症対策をサポートするオフィシャルパートナー(民間企業)から提供された啓発物品等をイベントや会議、セミナー等に参加する市民へ配布しながら、広く声かけを行っている。

また、ニヤオざねは、「熱中症予防 PR 大使」に任命され、東京で行われたイベントに参加するなど、市内外で熱中症予防を呼びかけている。



○市内飲食店

- ・雪くま（再掲）（H18/2006 年度～）

熊谷のおいしい水で作った貴目氷を、雪のようにふわふわに削り、お店オリジナルのシロップをかけたかき氷を熊谷名物として売り出している。

- ・熊之糍（再掲）（H29/2017～）

熊谷産のお米から作った糍を「熊之糍（くまのこうじ）」と名付け、熊之糍を使った栄養満点の糍甘酒スイーツ（ドリンク、和菓子、かき氷、ジェラート等）を市内店舗で販売している。

○ミサワホーム株式会社

MISAWA



- ・エムスマートシティ（H24/2012 年度～）

熊谷スマートタウン整備事業では、公募型プロポーザルで選定した事業者（ミサワホーム）が開発を行い、太陽光発電システムや燃料電池システム、LED 照明等の環境設備が導入された、家庭での一次エネルギー消費をゼロにするネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）が標準仕様となったスマートハウスを整備し、販売している。また、太陽や風、水や緑などの自然の力を利用しながら、夏を涼しく冬を暖かく暮らす知恵「微気候デザイン」という手法を取り入れた体感温度マイナス 3.5℃のまちづくりがされている。

○株式会社ニッセン（H28/2016 年度） nissen

- ・自ら温度管理をすることが難しい寝たきり高齢者や小さいお子さんが集まる子育て支援拠点、保育所等にクール敷パッド、マット等を配布



○株式会社伊藤園（H28/2016 年度～） 伊藤園

- ・「健康ミネラルむぎ茶」(600ml ペットボトル)をクールシェアくまがや公式飲料とし、熊谷限定オリジナルパッケージで販売。パッケージは「くまがや再発見」と銘打ち、熊谷市のマスコットキャラクターや伝統文化うちわ祭、伝統工芸熊谷染、伝統スポーツラグビーを紹介する 4 種類で展開
- ・2017 年には、学校給食に麦茶を使った「ミネラル蒸しパン」を提供し、子供たちに水分・ミネラル補給の大切さを伝えた。



○大塚製薬株式会社 (H29/2017 年度～)



平成 29 年 5 月 26 日に締結した熱中症対策をはじめとする「健康づくりに関する連携協定」をもとに、熱中症予防の絵本 1,250 冊が市立保育所あてにプレゼントされ、この絵本を使ったお話会を開催した。また、職員や市民向けの熱中症予防講習会も開催した。



○花王株式会社 (H29/2017 年度)



疲れやすい夏を快適に過ごすため、「きもちいいぞ！熊谷プロジェクト」を発足

- ・市役所に「きもちいいぞ！熊谷課」を臨時設置し、熱中症予防や暑さ対策事業の情報提供をするとともに、夏バテに効果的な入浴法として「クールダウン浴」を体験してもらうため、入浴剤のバブクール等を配布
- ・熊谷うちわ祭や打ち水大作戦などのイベントにおいて広く情報発信を行った。
- ・市内外の薬局等に、「きもちいいぞ！熊谷」特設コーナーを作り、熱中症予防を啓発
- ・和洋菓子の三河屋で、事業とコラボした「きもちいいぞ！熊谷」雪くまを限定販売



○株式会社 LIXIL (H29/2017 年度～)



- ・熱中症搬送者の半数近くを占める室内熱中症の危険性と予防について広く発信した。
- ・市立保育所や子育て支援拠点、箱田高齢者・児童ふれあいセンターの計 12 か所に、合計 66 セットの外付け日よけ(スタイルシェード)を設置



○ネスレ日本株式会社（H29/2017年度）



政府が定める熱中症予防強化月間（7月）の最終週に、市役所1階のまちなかオアシスにおいてアイス抹茶を配布し、こまめな水分補給と休息など、熱中症予防のポイントや熊谷市の暑さ対策などを呼び掛けた。



○環境省（H28/2016年度）

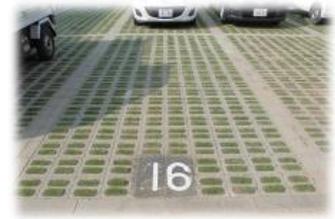
屋外での人の体感温度を下げることで屋内と屋外の熱環境の差を小さくし、人の感じる暑さをやわらげるとともに、夏の暑い時期に人の外出機会を増加させ、屋内冷房の抑制につなげることを目的として、余剰地下水等を利用した低炭素型都市創出のための調査・検証事業を、市役所敷地内にある熊谷市ゆうゆうバス 熊谷市役所前バス停で実施。5月中旬から9月下旬までの期間に、日除けや西日除けルーバー、冷却ルーバー、水景施設、保水ブロックを設置した。



(4) その他の暑さ対策事業

① 植生インターロッキングブロック・保水性舗装駐車場の整備 (H19/2007 年度)

- ・ヒートアイランド現象の緩和を図るため、公用車の駐車場に植生インターロッキングブロックを採用して蓄熱量を減らすとともに、保水性舗装を施し、気化熱による冷却を促し、路面からの反射熱を削減している。



② 電気自動車用急速充電器の設置 (H26/2014 年度)

- ・道の駅めぬま及び江南行政センターに電気自動車用急速充電器を設置し、H27(2015)年から稼働

③ 熱中症予防講座等の開催

- ・保健師が自主グループや自治会等に出向いて、熱中症予防講話を実施
- ・救急法指導、自主防災訓練及び自衛消防訓練時に熱中症予防について説明
- ・スポーツ少年団に対し、熱中症予防講習会を実施
- ・保健センターにおいて、熱中症の疑いなど健康に関する相談を実施

④ 熱中症弱者への対応

- ・単身高齢者にチラシと暑さ対策グッズを配布 (H24 保冷枕、H25 ウォーターミストファン、H26 温湿度計、H27 冷感タオル、H28 冷感まくらパッド)
- ・市営住宅内の70歳以上の単身高齢者世帯や生活保護受給者へ声かけ
- ・学校で水筒持参による水分補給の指導
- ・保育所の各部屋に温湿度計を設置、学校に携帯型熱中症計を配布
- ・保育所の午睡時に保冷枕を使用、児童クラブに保冷枕、冷却シートを常備
- ・保育所職員向け熱中症マニュアルを作成
- ・小中学校普通教室、特別教室へのエアコンの設置
- ・子育て支援拠点に対し、利用者へリーフレット等を用いた注意喚起を依頼

⑤ まちなかでの声かけ

- ・庁用車に「熱中症に注意」のステッカーを貼付、自治会等へも配布
- ・消防車両が業務出向する際に広報活動を実施
- ・ゴミ収集車による熱中症予防の放送を実施



⑥ 会議やイベント等での声かけ

- ・熱中症対策に関するものに限らず、5月～9月に市民が集まる会議やイベントの際に、チラシや啓発物品等を配布しながら熱中症予防を呼びかけた。



⑦ 市役所等公共施設での啓発

- ・市役所本庁舎1階ホールのニャオざねに「熱中症に注意するのによ！」のタスキをかけるとともに、市民課等へ向かう階段に熱中症予防の5か条を貼り付けた。
- ・庁舎4箇所と企業1箇所に懸垂幕を設置
- ・公民館等社会教育施設内に熱中症対策について掲示
- ・貸し会議室利用者にうちわ貸し出し
- ・市ホームページに「熱中症に注意」と表示



⑧ その他

- ・熱中症予防のチラシを全世帯に配布
- ・市報、保育だより、給食だより、農委だよりでの注意喚起
- ・母子健康センターや老人福祉センター、老人憩の家、男女共同参画推進センター等の市有施設にチラシを設置
- ・体育協会から加盟する競技団体に対し、注意喚起を実施
- ・JAに対して、農業従事者への熱中症予防啓発を依頼



5 おわりに

熊谷市では、地球温暖化対策、熱中症予防など、様々な側面から、暑さ対策に取り組んでいます。特に、熱中症予防については、効果を高めるために、市民全体に対して啓発するほか、幼児、小学生、中学生、高齢者向けなど、熱中症にかかりやすい世代を対象に、それぞれの年齢に応じた取組を行い、実施に当たっては、大学や民間企業などと連携して、それぞれの得意分野を生かした役割分担を行うなど、全国的にも例を見ない取組を多数行っています。

また、熊谷オリジナルのかき氷「雪くま」や、夏バテに効果のある花甘酒を使ったスイーツ「熊之粧」を新たな地域ブランドとして展開したり、国宝「歓喜院聖天堂」を擁する妻沼聖天山周辺の商店街で日傘を無料で貸し出したりするなど、市民や観光客が市内をめぐめる機会を創出しており、暑さ対策が、市民の健康を守るだけでなく、商店街やまちの活性化につながるなどの付加価値も生み出しています。

今後も工夫しながら、かつ丁寧に暑さ対策に取り組んで、誰も熱中症で搬送されることのない、熱中症ゼロを目指していきます。

暑いまちから暑さ対策日本一のまちへ、「あついで熊谷！」の心意気はそのままに、これからも取組を充実させていきます。

あつ
「手厚いぞ熊谷！」



6 参考資料

時系列索引

和暦	西暦	できごと	事業 掲載ページ
H16	2004	全国的猛暑。熊谷市では猛暑日日数28日を記録(日本一)	2
H17	2005	「あついぞ！熊谷」ひとづくり支援事業実施	2
H18	2006	「熊谷市活性化プロジェクトチーム」が「雪くま」を考案	19
		「あついぞ！熊谷」のシンボルキャラクターのデザインが決定、全国公募により名前が「あつべえ」に。	-
H19	2007	国内最高気温（当時）40.9℃観測（8月16日）	-
		「ヒートアイランド対策推進都市」を宣言（10月1日）	-
		職員から暑さ対策のアイデア募集	2
		植生インターロッキングブロック・保水性舗装の駐車場整備	45
H20	2008	「あっぱれ！熊谷流」プロジェクト始動	2
		市民活動事業（はじめの一步助成、子どもの見守り大作戦）	6,7
		保育所花いっぱい事業	8
		学校花緑いっぱい事業	8
		壁面緑化推進事業	9
		緑のカーテン推進事業	10
		花緑いっぱい事業	10
		小学校/中学校緑のカーテン推進事業	11
		遮熱性舗装事業	12
		保育所遮熱塗装事業	13
		熊谷駅広場冷却ミスト事業、高校総合体育大会冷却ミスト事業、うちわ祭冷却ミスト事業	15
		住宅用太陽光発電システム普及事業	16
		あついぞ！熊谷事業	17
		あつべえうちわ事業	18
		熊谷ブランド創造事業	19
		FM-NACK5番組放送事業	20
		熊谷染日傘普及事業	20
		ホームページPR事業	21
		温暖化対策計画策定事業	22
		熊谷100年の森づくり事業	22
		見守り熱中症予防事業	24
		熱中症予防情報発信事業	25
H21	2009	低公害車導入事業	14
H22	2010	熱線反射・断熱フィルム施工事業	13
		熊谷市地球温暖化防止活動推進センター開設（10月）	23
		熊谷市の猛暑日日数41日。最高記録を更新。	-
		暑さ対策プロジェクトチーム発足（10月27日）	2

和暦	西暦	できごと	事業 掲載ページ
H23	2011	業務用新エネ・省エネ設備奨励事業	16
		暑さにまけるな中学生事業	26
		まちなかオアシス事業	27
		熱中症予防グッズ（クールスカーフ）配布事業	28
		PR事業	28
		涼しさ体感アート事業	29
H24	2012	クールシェアの取組開始	41
		ミサワホーム 熊谷スマートタウン整備事業	42
		ひと涼みアワード2012 トップランナー賞を受賞	4
H25	2013	デジタルサイネージ事業	30
		クール&スマイル事業	30
		保育所ひんやりペタペタ事業（熱交換塗料塗布）	31
		高知県四万十市で41.0℃観測（8月12日）	-
		ひと涼みアワード2013 行政トップランナー特別賞を受賞	4
H26	2014	スマートハウス補助事業	16
		藤の parasol 事業	32
		まちかどステッカー事業	32
		みよう広げよう熱中症ゼロの輪事業（DVD）	33
		緑の力でクールタウン事業	33
		ひと涼みアワード2014 トップランナー賞を受賞	4
H27	2015	ちびっこ元気事業	34
		えんむすび日傘事業	34
		ひと涼みアワード2015 最優秀啓発賞、審査員特別賞を受賞	4
H28	2016	アロマの香りで涼しさUP事業	35
		ミストシャワー購入支援事業	35
		暑さに強い子“かんげき”！事業	36
		小学校委員会活動支援事業	37
		(株)ニッセン寄贈のクール敷パッド・マット等を配布	42
		(株)伊藤園の「健康ミネラルむぎ茶」を「クールシェアくまがや」公式飲料としてオリジナルパッケージで販売	42
		ひと涼みアワード2016 最優秀啓発賞、トップランナー賞を受賞	4
H29	2017	めざせ！暑さ対策研究日本一支援事業	38
		遊んで学ぼう！熱中症予防啓発事業（すごろく）	38
		暑さと乾杯！甘くま事業（熊之糰）	39
		熊谷さくら運動公園日陰創出事業	39
		地域へ発信！中学生サポーター事業	40
		(株)伊藤園と学校給食にミネラルむぎ茶蒸しパン提供	42
		大塚製薬(株)と「健康づくりに関する連携協定」締結	43
		花王(株)と「きもちいぞ！熊谷プロジェクト」実施	43
		LIXIL(株)と室内熱中症対策を強化	43
		ネスレ日本(株)とこまめな水分補給の呼びかけ	44
		ひと涼みアワード2017 最優秀声かけ賞官民連携部門、トップランナー賞を受賞	4

「あっぱれ！熊谷流」事業 決算

柱	事業名	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29(予算)	合計	
冷 ま せ	市民活動事業(はじめの一步助成)	600,000										600,000	
	市民活動事業(花いっぱい・打水 子どもの見守り大作戦)	872,970										872,970	
	市民活動事業(校区花いっぱい事業)		930,000									930,000	
	保育所花いっぱい事業	299,650	897,520									1,197,170	
	学校花緑いっぱい事業	5,000,000	5,000,000									10,000,000	
	緑のカーテン推進事業		492,500									492,500	
	花緑いっぱい事業			6,750,579	1,450,520								8,201,099
	小学校緑のカーテン整備事業				5,361,118	2,440,966	2,727,741	2,887,024	2,650,158	2,687,153	2,870,000		21,624,160
	中学校緑のカーテン整備事業				2,730,704	1,106,403	1,089,953	1,182,800	1,242,830	1,157,763	1,300,000		9,810,453
	妻沼行政センター壁面緑化事業	181,166	94,945										276,111
	熊谷商工会館壁面緑化事業	299,250											299,250
	公民館壁面緑化事業	983,876	140,863										1,124,739
	市民体育館壁面緑化事業	200,000											200,000
	江南行政センター壁面緑化事業		319,377										319,377
	壁面緑化推進事業			272,328	1,868,943	1,083,842	734,226	876,527	888,048	808,039	957,000		7,488,953
	遮熱性舗装事業	15,711,150											15,711,150
	保育所遮熱塗装事業	4,914,000											4,914,000
	熱線反射・断熱フィルム施工事業			11,151,000									11,151,000
	低公害車導入事業		10,380,000										10,380,000
	低公害軽自動車導入奨励事業					2,175,861	2,793,644	3,757,180	3,109,700	1,728,600	3,310,000		16,874,985
天 晴	熊谷駅前広場冷却ミスト事業	49,007,922	1,200,967	1,067,593	1,053,308	1,062,875	4,209,635	1,096,291	1,098,299	1,096,203	1,163,000	62,056,093	
	うちわ祭冷却ミスト事業	884,205	647,850									1,532,055	
	高校総体冷却ミスト事業	2,018,520										2,018,520	
	住宅用太陽光発電システム普及事業	10,559,000										10,559,000	
	新エネ・省エネ機器普及推進事業		22,000,000	25,000,000	29,156,000							76,156,000	
	業務用新エネ・省エネ設備奨励事業				1,980,000								1,980,000
	太陽光発電等普及推進事業					35,000,000	40,265,104	40,454,139	31,015,562	26,775,173	28,620,000	202,129,978	
	スマートハウス補助事業							12,500,000	29,500,000	25,000,000	25,000,000		92,000,000
ア ピ ー ル	あつぞ！熊谷事業	1,118,010	3,118,837	1,183,707	1,279,455	1,645,600	1,241,968	1,760,872	1,614,277	1,084,408	-	14,047,134	
	あつべえうちわ事業	730,650	732,172									1,462,822	
	熊谷アラウンド創造事業	2,994,843										2,994,843	
	熊谷アラウンド物産事業		3,486,489	3,638,296	3,096,243	2,909,604	3,317,960	4,417,141	1,946,341	4,341,534	1,748,000	28,901,608	
	FM-NACK5番組放送事業	3,465,000	1,794,535	998,360	1,001,028	1,002,080	1,004,776	999,800	3,002,300	1,080,000	1,089,000	15,436,879	
	ホームページでPR事業	2,992,500											2,992,500
	熊谷染日傘普及事業	1,000,000											1,000,000
扇 げ	温暖化対策計画策定事業	4,325,000										4,325,000	
	熊谷100年の森づくり事業	1,873,665			3,229,779							5,103,444	
	温暖化防止活動推進センター事業			1,698,700	2,200,000	2,200,000	2,570,000	2,300,000	2,300,000	2,320,000	2,336,000	17,924,700	
な る ほ ど	見守り熱中症予防事業	313,536										313,536	
	熱中症予防情報発信事業	34,566,000										34,566,000	
	熱中症予防事業		5,376,252	5,678,314	5,402,638	5,392,300	5,637,612	12,085,495	11,368,604	11,497,411	9,337,000	71,775,626	
	合計	144,910,913	56,612,307	57,438,877	59,809,736	56,019,531	65,592,619	84,317,269	89,736,119	79,576,284	77,730,000	771,743,655	

暑さ対策プロジェクトチーム提案事業 決算

	事業名	事業開始年度	種別	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29(予算)	合計
1	暑さにまけるな中学生事業	H23	移行	298,011	243,138	1,287,301	409,518	387,612	393,700		3,019,280
2	まちなかオアシス事業	H23	継続	594,855	1,138,746	704,614	542,894	434,354	625,989	588,000	4,629,452
3	熱中症予防グッズ配布事業	H23	継続	12,599,467	15,540,525	1,501,500	3,265,920	3,598,440	3,888,000	3,400,000	43,793,852
4	P R 事業	H23	終了	1,807,008	1,888,730						3,695,738
5	涼しさ体感アート事業	H23	継続	1,959,913		1,045,800	1,019,000	1,019,000	1,001,720	1,120,000	7,165,433
	市民協働「熊谷の力」涼しさ体感事業	H24			1,900,000						
6	保育所ひんやりペタペタ事業	H25	単年			6,004,425					6,004,425
7	デジタルサイネージ設置事業	H25	継続			3,956,384					3,956,384
	デジタルサイネージ事業	H26					425,931	429,941	427,987	440,000	1,723,859
8	クール&スマイル時計事業	H25	終了			2,155,430					2,155,430
	スマイルdeクール時計事業	H26					1,998,000				1,998,000
9	まちかどステッカー事業	H26	継続				347,760	270,648			618,408
10	みよう広げよう熱中症ゼロの輪事業	H26	継続				1,745,377				1,745,377
11	緑の力でクールタウン事業	H26	一部継続				151,200				151,200
12	藤の parasol 事業	H26	単年				11,426,400				11,426,400
13	ちびっこ元気事業	H27	継続					3,395,412	3,124,224	2,960,000	9,479,636
14	えんむすび日傘事業	H27	継続					1,800,000	720,000	720,000	3,240,000
15	アロマの香りで涼しさUP事業	H28	終了						162,000		162,000
16	ミストシャワー購入支援事業	H28	終了						3,894		3,894
17	暑さに強い子“かんげき”！事業	H28	終了						254,417		254,417
18	小学校委員会活動支援事業	H28	継続						2,663,296	2,900,000	5,563,296
19	めざせ！暑さ対策研究日本一支援事業	H29	継続							300,000	300,000
20	遊んで学ぼう！熱中症予防啓発事業	H29	継続							1,700,000	1,700,000
21	暑さと乾杯！甘くま事業	H29	継続							1,278,000	1,278,000
22	熊谷さくら運動公園日陰創出事業	H29	単年							10,000,000	10,000,000
23	地域へ発信！中学生サポーター事業	H29	(1を拡大)継続							1,250,000	1,250,000
				17,259,254	20,711,139	16,655,454	21,332,000	11,335,407	13,265,227	26,656,000	127,214,481

